

戦没者追悼式の開催

明治以降様々な戦争に出征し、戦地で亡くなられた若槻地区260余名の戦没者を慰霊するための追悼式が6月16日(月)にうわの公民館で昨年に引き続き執り行われました。

ご遺族をはじめ、ご来賓、コミわか正副会長、区長部の総勢50名ほどが出席しました。国歌斉唱、黙禱に続き、コミわか会長の式辞、長野市議会議員 滝沢真一様と遺族会会長 水上真夫様により追悼の言葉が捧げられました。最後に全員で献花を行い閉式しました。

昭和57年発行の若槻史によりますと、昭和29年3月31日に「招魂碑」が上野地区の国胎寺境内に建立されました。裏面の銅板には戦死者の名前が刻まれています。

それから、毎年慰霊祭を若槻地区区長会が主催、若槻仏教会、若槻遺族会等が協賛して行ってきたそうです。内容は招魂碑前で読経や焼香を行い、国胎寺本堂において読経、焼香、追悼のことはなどが霊前に捧げられたとのことでした。

時代が変わり、国、県、市でも無宗教で慰霊祭を実施することになり、若槻地区でもそれに倣って行うことになったそうです。

昨今、戦争による大勢の犠牲者や、悲惨な状況を知ることにより、平和の尊さ、日常を安心して暮らせることが大事であることを感じた1日でした。

(区長部会)



水上遺族会長による追悼のことは

第21回長野市甚句・音頭交流会が開催されました

(6月15日(日) 東部文化ホール)



この交流会は長野市内それぞれが生んだ郷土民謡・舞踏を一堂に会して発表することにより、各地区との交流を含め、

地域の活性化に寄与することを目的とし行われました。各地区で長野市の伝統文化を守り育てる活動が行われており、地域の伝統文化の振興を図ると共に、地区住民自らのまちづくり活動や、世代間、並びに地区間との良好なコミュニティに重要な役割を担っています。

本年は、若槻音頭・新町甚句保存会が交流会実行当番となり、保存会員はじめ公民館部会の皆様のご協力をいただき、市内12団体による交流会を盛大に開催することができました。また保存会の皆様も一年間の練習を披露することができました。会員の皆様も高齢となり、若い皆様に継承させていただく良い機会を頂きました。

踊りに興味のある方、ちょっと踊ってみようかなとお考えの方、是非いっしょに踊りませんか、毎月第二(土)の13時30分から若槻公民館にて練習しておりますのでお待ちしております。(若槻音頭・新町甚句保存会)



「交通安全防犯教室」を開催しました

6月23日(月)~26日(木)の間、午前と午後合わせて7会場で開催しました。長野中央警察署若槻大通交番所長の廣瀬様と長野県交通安全教育支援センター指導員の方々を講師にお迎えし講話をいただきました。



若槻大通り交番所長の廣瀬様からは、「住宅対象の強盗事件」と「皆で防ごう詐欺被害」についてお話を聞くことができました。住宅被害を防ぐには玄関のカギを閉める事、そしてインターホン越しでの会話とし安易に玄関ドアを開けないことを学びました。

詐欺被害についてはSNS型投資・ロマンス詐欺が問題になっています。また、警察官を語り捜査目的で現金等をだまし取る手口が急増しています。実際にあったお金詐欺の録音音声聞き、その手口と事例を紹介していただきました。詐欺を防ぐには、まず誰かに相談してほしい(警察、家族、友人)との事です。

また長野県交通安全支援センター指導員の方からは、自転車で転倒した時の頭部のダメージを防ぐ「ヘルメット着用の重要性」について解りやすく説明していただきました。(脳みそは木綿豆腐と同じくらいの硬さだそうです)

また自転車走行時の危険を早めに予測する事が大切と理解できました。目の視野を広くする数字探しゲームも行いました。

車を運転するときは体調を確認し、加害者にも被害者にもならない事が大切です。

参加していただきました区民の皆様、また開催にあたりご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。

(交通安全部会)